

報告

公明党北海道本部政策懇談会

常任理事・医療政策部長 笹本 洋一

これまで公明党北海道本部は、農業、漁業、林業団体との懇談会を行ってきた。今年度より、道内の各種団体と意見交換を行うこととなり、平成25年11月9日(土)14:00~14:55に、ホテル札幌ガーデンパレス4階「真珠」にて、地元国会議員等の出席のもと、当会と初めて政策懇談会が開催された。

当会からは、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・伊藤・笹本の各常任理事と事務局が、公明党北海道本部からは、佐藤英道衆議院議員、横山信一参議院議員、若松謙維参議院議員、北海道議会議員7名、札幌市議会議員6名と議員秘書らが出席された。長瀬清会長と、公明党北海道本部代表の稲津久衆議院議員は所用により欠席された。

福田浩太郎札幌市議会議員の司会ではじまり、冒頭、佐藤英道衆議院議員より開催のことば、若松謙維参議院議員と当会・深澤副会長より挨拶があった。次いで要望事項に入り、小職から代議員会の決議内

容を中心とした総論と国民皆保険制度の堅持、TPP、社会保障・税一体改革について要望を述べた。伊藤常任理事より医師確保対策と電力需要対策に係る医療機関等への対応について、小職より有床診療所の管理栄養士配置と入院患者の他医療機関受診時の減算廃止と受診医療機関での保険請求の可能化について、小熊副会長より休日夜間診療確保対策事業の継続、小児救急医療体制と現行救急医療体制の課題、ドクターヘリの拡充とメディカルウイング運航、災害医療対策と原子力防災対策について、藤原副会長より北海道における日本脳炎ワクチンの予防接種について、北野常任理事より看護職員確保対策と看護教育実習施設確保対策、看護師等養成所運営費補助金の増額と早期交付について、伊藤常任理事より社会保障診療報酬に対する事業税非課税措置の存続と社会保障診療等に対する消費税の問題について、各々要望し、懇談を行った。

意見交換では、佐藤英道衆議院議員より、日本脳炎の現状について質問があり、深澤・藤原両副会長より、国内の人の移動が活発な中で、道内でウイルス抗体陽性が豚に出ていること、北海道だけが定期予防接種化されていない、との説明があった。森成之北海道議会議員より航空医療体制に言及があり、深澤・小熊両副会長より、道内のドクターヘリは計画中の1機を含めても4機しかなく、広域な道内ではさらに増やしてほしいと追加要望があった。

最後に、横山信一参議院議員より、貴重な提言に対して公明党北海道本部全員で力を合わせて課題に挑戦させてもらおうと、挨拶があり閉会した。



深澤副会長



佐藤英道衆議院議員



会場の様子